

東京女子大学比較文化研究所主催ティー・レクチャー

# 監禁的・連鎖的暴力

ナイジェリア都市における

国家権力と人々の生／死を考える



玉井 隆

現代教養学部准教授

2025年12月16日(火)  
13:15-14:45 (開場 13:00)  
比較文化研究所 (4号館4階)

対象: 本学学生・教職員 (先着受付・定員 30名)

申込先: hikaku@gr.twcu.ac.jp (12/11 締切、先着順)

※学生は CIS アカウントから申し込むこと。 ©03-5382-6749

◎<https://www.lab.twcu.ac.jp/icsc/event/>

東京女子大学比較文化研究所

東京女子大学比較文化研究所主催ティー・レクチャー

# 監禁的・連鎖的暴力

## ナイジェリア都市における国家権力と人々の生／死を考える

### ■講演梗概

本講演では、現代アフリカ社会における国家権力による暴力の特性を検討する。事例は、サハラ以南アフリカ最大都市である、ナイジェリアのラゴスにおいて、暴力に苦しめられた一人の男性の経験である。彼は公共空間で



の警察による突然の暴行、警察署での拷問、刑務所内での看守や受刑者による暴力を受け、釈放後には仕事や住居、友人・知人を失った。ナイジェリアでは、2010年代後半以降、治安機関による暴力がソーシャルメディア上で可視化され、若者世代による民族・宗教を超えた連帯と抗議運動を生み出し、警察部隊の解体に至った。ソーシャルメディアはこうした暴力の瞬間を問題化する。しかしこの男性にとって暴力の瞬間は「生きながら死んでいる」(living dead) 地位へと周縁化される始まりに過ぎない。本講演ではこのことを、国家権力による監禁的・連鎖的な暴力として議論する。

### ■講師紹介

玉井 隆 Takashi TAMAI 現代教養学部准教授

2015年、東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。同年博士号(学術)取得。在ナイジェリア日本大使館専門調査員、東洋学園大学准教授などを経て現職。現在、NPO法人アフリカ日本協議会共同代表も務める。専門は文化人類学、アフリカ地域研究。著書に『治療を渡り歩く人びとーナイジェリアの水上スラムにおける治療ネットワークの民族誌一』(風響社、2020)、共著に『ナイジェリアを知るための56章』(明石書店、2025年)、『ようこそアフリカ世界へ』(昭和堂、2022年)、『新世界の社会福祉11 アフリカ／中東』(旬報社、2020)など。



2025. 12. 16 ㊤ 13:15~14:45 (開場:13:00) 比較文化研究所(4号館4階)

対象:本学学生・教職員(先着受付・定員30名)

申込先:hikaku@gr.twcu.ac.jp(12/11締切) ※学生はCISアカウントから申し込むこと。

☎03-5382-6749 ☎<https://www.lab.twcu.ac.jp/icsc/event/>

東京女子大学比較文化研究所